

1 単元名 お話を楽しもう（光村図書 2年下）

教材「スーホの白い馬」

2 目標

- スーホや白馬，その他の登場人物の言動を中心に，心が動いたところを見つけて発表し合うことで，お話のおもしろさの見つけ方を増やすことができる。
- 「スーホの白い馬」を読んで心が大きく動いたところを，その理由とともに紹介し合うことで，お話の山場や終末などに目を向けた感想の表現の仕方を学ぶことができる。

3 指導計画（全14時間）

第1次 スーホの白い馬を読み，感想をもとに，読みのめあてをもつ。（3時間）

第2次 スーホと白馬の心の結びつきを読み取る。（8時間）

第1時 モンゴルについて分かることを読み取る。

第2時 スーホはどんな少年かを読み取る。

第3時 子馬を連れ帰ったスーホの気持ちを読み取る。

第4時 スーホの愛にこたえる白馬とスーホの心のつながりを読み取る。（本時）

第5時 白馬をとりあげられたスーホの気持ちを読み取る。

第6時 殿様の態度をスーホと比べて読み，逃げ出した白馬の気持ちを読み取る。

第7時 白馬が帰って来たときのスーホの気持ちを読み取る。

第8時 馬頭琴を作って弾くスーホの気持ちを読み取る。

第3次 好きな場面（おもしろかったところ）を紹介する発表会をする。（3時間）

4 指導上の立場

○ 教材について

本単元は，場面の様子の移り変わりや登場人物の気持ちなどについて想像を広げながら読み進めるとともに，いろいろな話に興味を持ち，進んで読もうとする意欲へつなげていくことを目標とし，モンゴルに古くから伝わる民話をもとにした叙情豊かな教材文である。

本教材「スーホの白い馬」は，モンゴルの大草原を舞台に，たくましく心優しいスーホとスーホに助けられ愛情を込めて育てられた白馬との心の交流と固い絆が描かれた感動的な物語である。スーホと白馬の心の交流が感動的であるばかりでなく，様子や気持ちを表す言葉や動的な表現が巧みである。そのため，表現のすばらしさも感じ取らせることができる。さらに，物語の展開のおもしろさに引きつけられ，スーホの行動を中心に，その様子を豊かに想像し，スーホの気持ちになって喜んだり悲しんだりしながら，最後まで興味深く読むことのできる内容である。

○ 児童の実態

削除しています。

○ 研究主題との関わり

第1学年及び第2学年の「読むこと」の目標は，「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに，楽しんで読書しようとする態度を育てる」ことである。本単元では，教材文の場面の移り変わりや様子を正確に読み取っていくこと，また，それぞれの場面でテーマとなるスーホと白馬の心の結びつきを感じさせていくことで物語に浸ることができ，読む楽しさへつながっていくと考える。また，物語により浸らせるために，物語の舞台となるモンゴルは児童にとって馴染みが薄いので，写真や挿し絵でモンゴルの土地や遊牧民の生活につい

て理解させた上で教材文に入りたい。

研究主題「言葉の力を育てる授業のあり方」に迫るために，本単元では，二つのことに焦点をあてて取り組んでいきたい。

・ 「おもしろ見つけ」について

言葉の力を育てる一つに，「自分の力で表現する」ということが増えると考えている。ここでは「おもしろ見つけ」と称し，物語を読んでそれらの内容に対して「自分の力で表現する」ということを下記のようにいくつかの段階に分けて取り組んでいく。ただ，実際に授業を進めるにあたって留意すべき点は，児童の発達段階に応じて個々の児童の活動を認めながら支援していくことであり，次の段階に進めることを急がないことであるとする。

- ・ おもしろいところを見つける。
- ・ いろいろな点に目を向けて見つける。
- ・ なかでも心に残るところを見つける。
- ・ 心に残ることに対する自分なりの感想が持てる。

・ 「学習過程を大切にしたい学習課題（めあて）の設定」

授業の活性化を図るために学習過程（めあてを持つ → 一人学び → 学び合い → まとめ）を大切にしたい適切なめあての設定を行っていききたい。

そこで本時では，「おもしろ見つけ」で見つけたことの中から，本時のめあてを考えさせる活動を行い，本時の学習に入りたい。

5 本時案 (第2次第4時)

目 標	おおかみから羊を守る白馬の様子から、スーホの愛にこたえる白馬とスーホの心のつながりを読み取る。		
学 習 活 動	教師の支援と工夫 ( ☆ 評価 )		
1 本時のめあてをつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時の学習を振り返り、スーホの優しさや愛情深さ、スーホの愛情に応えるように育っていった白馬の様子を確認する。</li> <li>○ 本時の学習場面を確認し、おもしろ見つけで見つけたことの中から、本時はどれが学習できるかを考えさせる。</li> <li>○ スーホと白馬の心がつながっているところを見つけることを確認する。</li> <li>○ 丸読みで、交代しながら音読をする。</li> </ul>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">スーホと白馬の心がつながっているところを見つけよう。</div>			
2 心がつながっているところを見つけて線を引く、書きこみをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スーホや白馬の「したこと」や「言ったこと」や様子で、心がつながっていると思うところに線を引かせ、その理由を書きこませる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分かりにくい児童には、「スーホは」「白馬が」「白馬は」という主語を目印に探させる。</li> <li>・ なぞりも認め、何か理由を書くようにさせる。</li> <li>・ 理由が書きにくい児童には助言をする。</li> </ul> </li> </ul>		
3 線を引いたところを発表し、全体で話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 線を引いたところを理由とともに発表させ、全体で話し合う。</li> <li>○ 特に大切な言葉は取り上げて、表現の仕方について考えさせる。</li> </ul> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>〈スーホ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ はねおきる</li> <li>・ とび出す</li> <li>・ かけつける</li> <li>・ かけよる</li> <li>・ 兄弟に言うように話しかけた</li> <li>・ 「よくやってくれたね・・・」</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>〈白馬〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立ちふさがる</li> <li>・ ひっしにふせぐ</li> <li>・ 体じゅうあせびっしょり</li> <li>・ あせまみれ</li> </ul> </td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">         白馬に何かあったと考えると、急いでいる感じ          羊を必死で守ってくれて、白馬に感謝している     </div>	<p>〈スーホ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ はねおきる</li> <li>・ とび出す</li> <li>・ かけつける</li> <li>・ かけよる</li> <li>・ 兄弟に言うように話しかけた</li> <li>・ 「よくやってくれたね・・・」</li> </ul>	<p>〈白馬〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立ちふさがる</li> <li>・ ひっしにふせぐ</li> <li>・ 体じゅうあせびっしょり</li> <li>・ あせまみれ</li> </ul>
<p>〈スーホ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ はねおきる</li> <li>・ とび出す</li> <li>・ かけつける</li> <li>・ かけよる</li> <li>・ 兄弟に言うように話しかけた</li> <li>・ 「よくやってくれたね・・・」</li> </ul>	<p>〈白馬〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立ちふさがる</li> <li>・ ひっしにふせぐ</li> <li>・ 体じゅうあせびっしょり</li> <li>・ あせまみれ</li> </ul>		
4 本時のまとめをする	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ スーホと白馬の心がつながっているところを見つけることができたか。</li> <li>☆ 心がつながっている理由を言うことができたか。</li> <li>○ なぜ白馬は逃げないで、命がけで必死に羊を守ろうとしたのかを考えさせることで主題にせまりたい。</li> <li>○ スーホがどんなときでもいっしょにいたいと思った場面だったことを確認しておく。</li> </ul>		

6 資 料

本単元の「おもしろ見つけ」で予想される児童の表現

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ おもしろいところ (心がうごくところ) を見つける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スーホはいい人だ。</li> <li>・ スーホはやさしい。</li> <li>・ スーホはくやしかったらうな。</li> <li>・ スーホは悲しかったらうな。</li> <li>・ 白馬はスーホに助けられてよかった。</li> <li>・ 白馬ははやいなあ。</li> <li>・ 白馬が殺されて悲しい。</li> <li>・ 白馬がかわいそう。</li> <li>・ スーホと白馬は仲がいいなあ。</li> <li>・ スーホと白馬は心がつながっている。兄弟みたいだ。</li> <li>・ とのさまは悪い。</li> <li>・ とのさまがにくい。きらいだ。</li> <li>・ 白馬は死んでしまったけれど、馬頭琴になってスーホといっしょにいられるようになってよかった。</li> <li>・ 本物の馬頭琴を見てみたい</li> <li>・ 馬頭琴の音を聞いてみたい。</li> </ul> </li> <li>○ いろいろな点に目を向けてみつける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 互いに感想の発表をするなかで、友達の意見を聞いて、自分がみつけたところ以外に、こんなところもあったかと気付くことで、いろいろな点に目が向けられるようになる。</li> </ul> </li> <li>○ なかでも心に残るところを見つける <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白馬は矢がささってひどいきずなのに、スーホのところへ戻っていったところ。</li> </ul> </li> <li>○ 心に残ることに対する自分なりの感想が持てる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 死んでもスーホのところへ帰っていきなんて、白馬は本当にスーホが大好きだったんだ。スーホが拾って大切に育ててくれたし、白馬も命がけで羊を守ったし、スーホと白馬は心がつながっていたんだ。                  白馬は死んでからも馬頭琴になってスーホといっしょにいたかったんだ。スーホ、いつまでも馬頭琴を大切にせずといっしょにいてね。</li> </ul> </li> </ul>
--